

巻頭言

本年も残すところ2か月余りとなりました。年々時間が過ぎ去るのが速く感じます。

本年11月より、虚血性心疾患の患者さまの、冠動脈治療後の地域連携パスを導入させていただきます。ご開業の先生方と患者さまを連携してフォローするための、受診、検査等の計画表のようなものです。サンプルを今回の連携通信に同封しております。ご協力のほどお願い申し上げます。

循環器内科からのお知らせ

1. 第3回土谷循環器カンファレンスを行います。

日時:本年12月13日火曜日19時より 場所:土谷総合病院8階会議室。

【症例報告】

- (1)胸痛にて当科受診後に心室細動となり、PCI後もDC施行するも心室細動が持続したが、たえまない心臓マッサージにて救命しえた症例
- (2)右冠動脈入口部の再狭窄を繰り返す症例、DESの限界
- (3)ショック状態にて受診となった急性心筋炎の1症例
- (4)肺塞栓で発症した下腿血管腫の症例

【ミニレクチャー】

新しい画像診断法 OCTIについて

(発表の内容が変更となる場合がございます)

2. 患者さま向けの心臓病教室をしております。

日時:毎月第3月曜日(月曜日が祭日の際には第4月曜日)14時30分から1時間

場所:土谷総合病院8階会議室

3. 冠動脈インターベンション後の患者さまの地域連携パスを使用開始いたします。ご協力のほどお願い申し上げます。

症例報告

【症例】87歳女性

【現病歴】慢性腎不全、糖尿病にて近医加療中であった。最近は老人ホームに入居していた。2011年6月初旬より食欲低下あり、以前よりpro-BNP高値であり、心不全悪化による食欲低下を疑われ当科へ紹介。6月22日入院となった。

【既往歴】糖尿病、慢性腎不全、腎性貧血

【入院時身体所見】

身長 158cm, 体重 38kg

胸部 ラ音(-), 心雑音(-)

【血液検査】

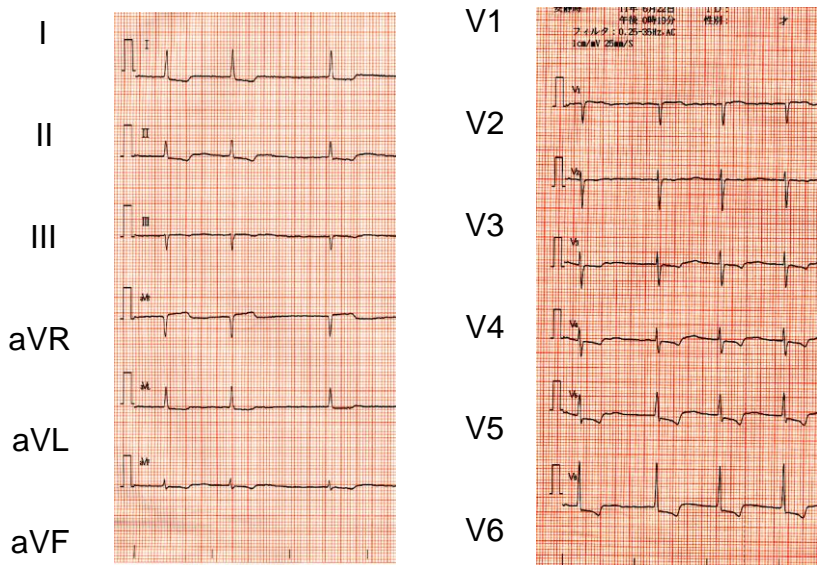
WBC 6600, Hb10.1, BNP179.7pg/ml, GOT20IU/L, GPT13IU/L, Cr2.0mg/dl, BS231mg/dl, Na139, K5.2

【近医での内服】

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. バイアスピリン 1T | 2. アマリール(1) 1T 1X屋前 |
| バリエット(10)1T | 3. セイブル(50)2T 2X屋夕前 |
| ラシックス(20)1T | 4. ハーフジゴキシン(0.125)1T 1X朝食後 |
| アルダクトンA(25)1T 1X朝食後 | 5. ネシーナ(6.25)1T 1X夕食後 |

【胸部X-P】CTR62%, 胸部肺野にうっ血は認めなかった。

【心エコー】軽度の僧房弁閉鎖不全を認めたが、左心室壁運動は良好。



【経過】ECGにてST盆状降下を認めた。ジゴキシン血中濃度測定したところ、1.52ng/mLと治療域ではあったが、ジギタリス中毒による食欲低下を疑い、ジゴキシン中止し、補液にて経過観察したところ、次第に食欲は改善し、全身状態も改善。第10病日に退院となった。

【考察】

ジギタリスについて、日本循環器学会の慢性心不全の薬物療法についてのガイドラインでは「ステージC(症候性心不全)NYHA2度の症例に、低用量ジゴキシンの使用を考慮する。ジギタリス Class IIa血中濃度0.8ng/ml以下で維持」と、あります。DIG Trial(1)においてジギタリスの血中濃度別の予後の検討にて、約5年の追跡調査にて、死亡率は血中濃度0.5-0.8ng/mL:29.9%、0.9-1.1 ng/mL:38.8%、>1.2 ng/mL:48.0%; $P=$.006ともっとも死亡率の低かったのは血中濃度が治療域以下の群でした。通常の治療域に群では死亡率が上昇したことより、現在のガイドラインでは低容量ジゴキシンが推奨されております。

また、頻脈に対するジゴキシンの使用については、

「心房細動例における心拍数調節のための攻撃目標は房室結節にあり、薬剤としてはCaチャンネル遮断薬のほか、 β 遮断薬やジギタリスなどが有効である。一般にジギタリスは副交感神経系の活性化時に効果を発揮するため、活動時の徐拍作用は弱い。そのため心機能良好な例のレートコントロールではジギタリスよりも β 遮断薬やCaチャンネル遮断薬の投与を優先し(クラス I, エビデンスレベルB), ジギタリスは β 遮断薬やCaチャンネル遮断薬だけでは不十分な際に補強する形で併用する(クラス II a, エビデンスレベルB)」と記載があり、ジギタリスは安静時の心拍は抑制しますが、労作時の心拍の抑制作用は弱く、 β 遮断薬やCaチャンネル遮断薬だけでは不十分な際に使用を考慮することになっております。

(1) JAMA 2003 Feb 19;289(7):871-8

ニュース

1. さる8月23日第2回土谷循環器カンファレンスを行いました。多くの先生方にご参加いただきました。
2. さる9月28日土谷病院心エコー室にて第3回心エコーハンズオンセミナーを開催いたしました。当日はお忙しい中、南区、東区の20人の先生方お集まりいただきました。今後もひきつづき、心エコーのセミナーを開催予定しております。

循環器内科ホットライン 080-1908-6660 (24時間対応)
緊急症例はホットラインにてご連絡ください

あとがき

病診連携通信へのご意見、また循環器内科へのご意見、お問い合わせがございましたら、以下へご連絡いただければと存じます。
〒730- 広島市中区中島町3-30 TEL: 082-243-9191 FAX: 082-241-1865 E-mail: cardiology@tsuchiya-hp.jp
発行元: あかね会土谷総合病院循環器内科